

節電ボタンの使い方

● 節電ボタンは、節電モード（セーブ運転）設定に使用します。節電モード（セーブ運転）では、室外機の電流上限をおさえる運転を行います。

1

運転/停止 を押して運転する

- 運転ランプが点灯します。

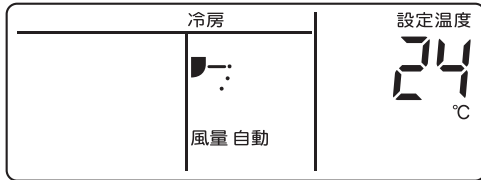
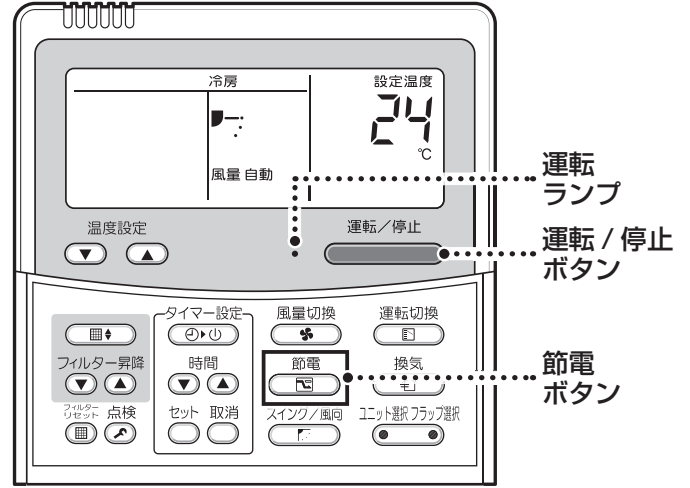


図1：通常の運転中の表示



2

運転中に 節電 ボタンを押す

- 設定温度の部分に現在のセーブ運転率が点滅表示され、節電ボタンを押すたびにセーブ運転率が次のように切り換わります。(工場出荷時は“-”に設定されています)

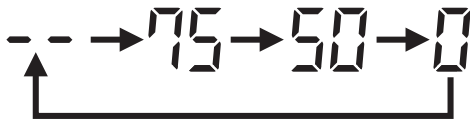


図2：【節電】ボタンでセーブ運転率を設定しているときの画面

セーブ運転率	運転動作
--	通常の運転を行います。
75	室外機の電流上限を約 75%におさえた節電モード（セーブ運転）を行います。
50	室外機の電流上限を約 50%におさえた節電モード（セーブ運転）を行います。
0	室外機を停止した運転を行います。(冷房、ドライ時は送風運転を行います)

- セーブ運転率の設定後は、節電モード(セーブ運転)中画面が表示されます。(図3)

- セーブ運転率を“-”に設定したときは、節電モード(セーブ運転)が行われずセーブ運転率は表示されません。
- 送風運転中はセーブ運転率は表示されません。

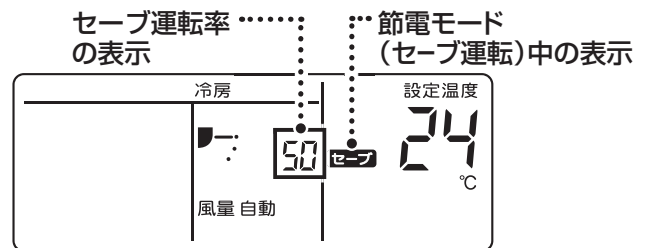


図3：節電モード(セーブ運転)中の画面

お知らせ

- 節電モード(セーブ運転)では、エアコンの室外機の電流上限をおさえる運転を行います。条件によっては使用時の消費電力が抑制されない場合があります。
- 節電モード(セーブ運転)では、エアコンの能力をおさえた運転になりますので、よく冷えない(暖まらない)ことがあります。
- セーブ運転率を0%に設定した場合は、室外機を停止した運転を行います。冷房、ドライ運転時は送風運転を行います。暖房運転時は室内ファンが動作しない場合があります。
- 集中管理リモコンや室外機の設定によってはリモコンで設定できない場合もあります。
- グループ接続を行っている場合に節電モード(セーブ運転)を設定したときは、グループ内すべてのユニットが節電モード(セーブ運転)を行います。
- 組合せの室内ユニット、室外機により節電モード(セーブ運転)の機能が制限される場合があります。詳細は販売店にお問い合わせください。
- 節電ボタン以外の使用方法については、室内ユニット本体に付属している取扱説明書をご覧ください。